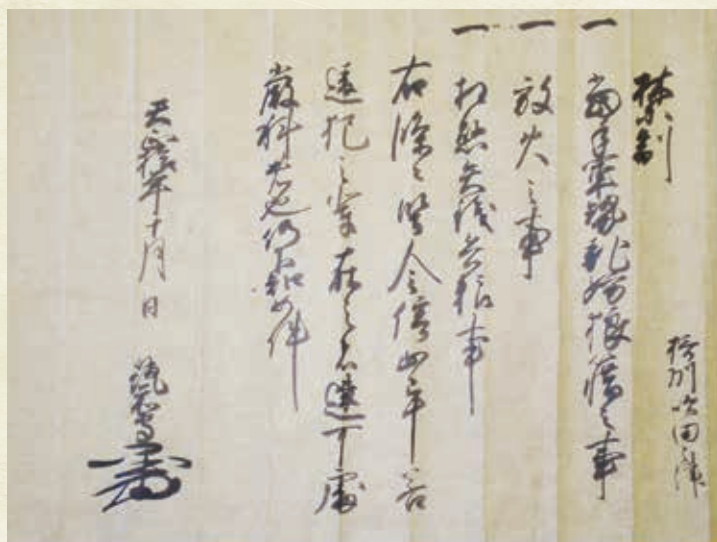
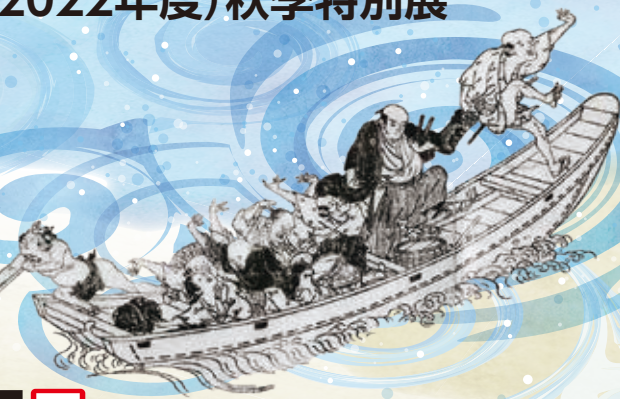


吹田市立博物館開館30周年記念 令和4年度(2022年度)秋季特別展

# 神崎川展

—川港・吹田のものがたり—

9月23日金・祝～10月30日日



羽柴秀吉禁制(天正10年[1582] 個人蔵)



摂津国七郡一覧(部分 明治12年[1879] 当館蔵)



河絵図(寛政9年[1797] 個人蔵)



上高浜橋(昭和初期)

■開館時間／午前9時30分～午後5時15分

■休館日／10月10日以外の月曜日と10月11日(火)

■観覧料／大人 200円

高校・大学生 100円

小中学生 50円

\*市内在住の65歳以上の方は100円。

\*市内在住で障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。

\*毎週土曜日は小中学生は無料(土曜日以外も「ぐるっとすいたカード」をもってくと無料)。



## 【交通案内】

- JR岸辺駅下車北口から徒歩20分
- JR吹田駅北口・阪急吹田駅から  
千里中央ゆきバス4系統「紫金山公園前」下車徒歩5分  
五月が丘南ゆきバス(循環)「五月が丘西」下車徒歩7分  
桃山台駅前ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
- 阪急南千里駅から  
「JR吹田」ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分。
- 北大阪急行千里中央駅・阪急山田駅から  
JR吹田ゆきバス4系統「紫金山公園前」下車徒歩5分  
JR吹田ゆきバス12系統「岸部」下車徒歩10分
- お車の場合は、五月が丘方面からお回りください。  
(吉志部神社側からは車は進入できません。)



# 神崎川展

## —川港・吹田のものがたり—

吹田市と大阪市の市境である神崎川は、古くは三国川と呼ばれ、その名が歴史書に登場するのは『続日本紀』が最初です。長岡京遷都の翌年、延暦4年(785年)に現在の摂津市別府から一津屋付近に淀川との間に運河の掘削が行われたことが記されています。この工事によって淀川と繋がった三国川は京と西国を結ぶ水上交通において重要性を増し、その右岸に位置する吹田市南部地域は、以後川の港として大きく発展していきます。一方で川沿いの低湿地であったことから長年排水、洪水に悩まされてきました。平安時代には荘園の開発が始まり、貴族の邸宅も建てられ、鎌倉時代には貴族の遊行の地にもなりました。

吹田の津は、近世には過書船や屎船などの水運の拠点として栄え、また、吹田の渡も設置され、大坂との間で文人の往来も盛んになりました。明治11年(1878)には水害対策のため付け替え工事も行われ、ビール・晒<sup>さらし</sup>・紡績などの近代工場がいくつも進出する工業地帯として発展しました。

本展では、こうした神崎川を舞台にした吹田の歴史を、交通・物流・生産・文化・治水などの川の機能に着目し、歴史学、考古学、民俗学、美術の各分野の資料によって紹介したいと思います。

なお、本展はコロナ禍で延期となっていた令和2年度(2020年度)春季特別展をあらためて実施するものです。

### 関連イベント

#### 講演会

●場所／2階 講座室

〈定員／40名、要申込。多数抽選。参加費／無料〉

#### ◆9月23日(金・祝) 午後2時～3時30分 「江戸幕府の上方治水システムと神崎川」

- 講師／村田 路人氏(神戸女子大学文学部教授)
- 申込メ切／9月13日(火)必着

#### ◆10月1日(土) 午後2時～3時30分 「摂津地域の渡来文化とその故郷」

- 講師／寺井 誠氏(大阪歴史博物館学芸員)
- 申込メ切／9月20日(火)必着

#### ◆10月8日(土) 午後2時～3時30分 「淀川往来・大坂と京の画家たち」

- 講師／中谷 伸生氏  
(関西大学名誉教授・  
きょうと視覚文化振興財団理事)
- 申込メ切／9月27日(火)必着

#### ◆10月15日(土) 午後2時～3時30分 「神崎川の開削と河尻の発展」

- 講師／楞野 一裕氏(尼崎市立歴史博物館学芸員)
- 申込メ切／10月4日(火)必着

#### ◆10月22日(土) 午後2時～3時30分 「明治の淀川改修と神崎川」

- 講師／大澤 研一氏(大阪歴史博物館館長)
- 申込メ切／10月11日(火)必着

#### ギャラリートーク

●場所／3階 特別展示室

〈定員／15名、要申込。多数抽選。参加費／無料。観覧料が必要〉

#### ◆10月30日(日) 午後2時～3時

- 講師／当館特別館長 中牧 弘允
- 申込メ切／10月18日(火)必着

#### 展示解説

●会場／3階 特別展示室

〈定員／15名、要申込。多数抽選。参加費／観覧料が必要〉

#### ◆10月9日(日) 午後2時～3時 展示解説(考古・民俗編)

- 解説／当館館長 高橋 真希  
当館学芸員 藤井 裕之
- 申込メ切／9月27日(火)必着

#### ◆10月23日(日) 午後2時～3時 展示解説(歴史・美術編)

- 解説／当館特別館長 中牧 弘允  
当館副館長 池田 直子  
当館学芸員 河島 明子
- 申込メ切／10月11日(火)必着

#### 史跡見学会

〈定員／30名。要申込。多数抽選。参加費／無料(交通費等実費)〉

#### ◆10月29日(土) 午後1時～4時 「神崎川河口沿いの史跡探訪」

- 案内／楞野 一裕氏(尼崎市立歴史博物館学芸員)
- 集合場所／JR尼崎駅
- 解散場所／尼崎市立歴史博物館
- ルート／神崎渡し跡、神崎橋、寺江亭跡、大物主神社、  
尼崎市立歴史博物館 等
- 申込メ切／10月18日(火)必着

#### イベントの申込方法

はがきかファックスにイベント名・日時・参加者全員の郵便番号・住所・名前(ふりがな)・電話番号を書いて博物館へ。吹田市役所ホームページの電子申込システム(9月1日～)からも応募できます。

【電子申込QR】

